

## ■消防団で光る女性のチカラ

廿日市市消防団の団員として活動する田中雅美さん。全ての活動に参加する基本団員の田中さんは、消火活動の後方支援や「女性消防隊」の隊員として活動しています。

「女性隊は、市内のイベントなどで消防団のPR活動や救命講習のお手伝い、『あゆみこども会（廿日市地域）』の夜回り活動などを行っています。楽しんで活動している姿を見ていただくことで、消防団の広報に繋がればと思って取り組んでいます。女性隊の年齢層はばらばらですが、同じ思いを持った仲間がいて、一緒に活動できることが私の原動力です。一人でできることは少なくても、みんな



集まれば大きな力となり、『大丈夫』と強い気持ちを持てるんです」と、活動への思いを話します。

## ■8月の坂町・小屋浦地区

「7月豪雨災害の後、隊から被災地の避難所支援のお話がありました。実際の災害で避難所支援に入るのは初めてでしたので、まず活動経験のある広島市の女性隊の方にノウハウを教えるもらいました。できることはしたいという思いで、8月末、女性隊で坂町・小屋浦地区の避難所『小屋浦ふれあいセンター』を訪れ、県内各市町の女性隊の方々と交代で延べ12日間支援活動に入らせていただきました。避難所の近くでは行方不明者の捜索活動が行われていたり、建物の入り口付近まで土砂がある家の復旧作業が行われていたり、避難所の方のお気持ちを考えると、自分にどんなことができるだろうと考えながら現場で活動しました。」

現場では、研修通りにいかないことばかりだったという田中さん。「どこから手を付けていいの

か分からず、まずはひたすらトイレなど施設内の清掃を始め、衛生管理を行いました。現場では『できることがある』ことやりがいを感じる一方、『私にできることはこれだけか』と、悩みながら活動しました。女性隊で動いていたため話しやすく感じてもらったのか、避難者が困っていることなどを私たちに話してくださり、それをセンターの人に伝えるなど、避難者との触れ合いの中で活動を進め、帰るときには労いの言葉までいただき、大変感動しました。」

## ■これからを見据えて

隊の全員が順番で活動に入り、一緒に苦労を味わって、隊の信頼関係も深まりました。自分たちのまちで災害が起きたとき、スムーズに避難所支援を進めていけるよう、必要なことを把握しておくなど、今回学ばせていただいたことを生かしていきたいと思えます」と、災害支援活動の経験から抱いた思いを話してくれました。



2次元コードから田中さんのインタビュー動画を見ることができます。12月1日(土)に掲載するので、ぜひご覧ください。

電話での問い合わせが難しい人は  
☎0829⑩1059

目の不自由な人のための  
音声読み上げのための「広報はつかいち」テキスト版をホームページに掲載しています。  
「広報はつかいち」のウェブサイト、アプリ、図書、点訳本があります。問い合わせ先 社会福祉協議会 ☎0294

はつかいら人 vol.35 廿日市市で輝く人を紹介します

田中 雅美 さん (団員歴10年)

### 編集後記

災害の前と後で、何か行動が変わってほしいと、今回の特集を組みました。豪雨災害を振り返って終わるのではなく、読んだ人がこの広報紙をきっかけにしていざというとき命を守ることができれば、市役所の広報担当でも、人の命を救うことができるかもしれないと思いつながら編集しました。取材を受けてくださった方々、本当にありがとうございました。人の支えがあつて広報紙を発行できることを忘れず、今後も編集に取り組んでいきます。

市役所には、毎日さまざまな問い合わせや意見などが届きます。それに、職員の対応などに対して感謝の言葉をいただくことがあり、ポジティブな内容だと他部署のことも嬉しくなります。電話やファクスのほか、市ホームページの送信フォームから市へ声を届けることができます。広報紙の感想なども気軽にお願いします。

澁谷 里香  
田坂 尚子

### 人のうごき

	前月比	
総人口	117,431人	(-4)
男	56,411人	(+13)
女	61,020人	(-17)
世帯	51,822世帯	(+1)

(平成30年11月1日現在、外国人を含む)